

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水源の森の魅力を知る上下流交流事業
事業主体 (連絡先)	木曽広域連合 地域振興課 (木曽広域交流事業基幹委員会) (0264-23-1050)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ウ森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	480,312円 (うち支援金: 321,000円)

事業内容

木曽地域の重要性を理解する下流域住民の増加を図り、水源涵養や林業振興に寄与するため、以下の2事業を実施した。

ア: 森林整備啓発事業 (木曽ひのきに触れるワークショップ)

7月30日(火)～31日(水) / 名古屋市科学館

講義(上下流のつながり)と実験(ひのきのアロマオイル作り)

イ: 交流の拡大

A 木工ワークショップ(支援金対象外事業)

7月20日(土)、27日(土) / 愛知県美浜町内

講義(上下流のつながり)とヒノキの箸作り体験

B 夏休み日帰りツアー

8月24日(土) / 木祖村内

味噌川ダム見学、バードコール製作体験、水木沢天然林散策



【森林整備啓発事業】

ひのきのアロマオイル作りの様子

【目標・ねらい】

- ・ 水源地としての木曽地域の重要性を理解する下流域住民を増やす
- ・ 木曽地域の森林資源を活用した地域づくりを推進する

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

アは、交流関係のある名古屋市科学館の設備を活用し、新たな体験メニューとして実施し、40組80名の親子が参加した。

木曽地域と名古屋のつながりについて学ぶとともに、木曽ひのきの豊かな香りを体感していただくことができた。

イは、愛知県美浜町内で木工ワークショップを開催し、2日間で39名の方が参加した。木曽地域と美浜町のつながりについて学ぶとともに、木曽ひのきの箸づくりを体験していただいた。

また、知多半島南部の住民を対象とした日帰りツアーを実施し、木祖村内のダムや天然林の散策を楽しんでいただいたが、参加者は3組6名にとどまった。

※自己評価【 C 】

【理由】

木曽地域への理解・認知度を広げることができたが、木曽地域を訪れる下流域住民の増加にはつながらず、より効果的な周知を行う必要がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アは、実験施設の活用による新たな体験メニューとして参加者の満足度も高かったが、実験に参加しない親子の空き時間を有効活用することでより充実した内容とすることができる。

イの日帰りツアーは、周知範囲が小規模だったことから参加者が少数となった。より多くの下流域住民に木曽地域を訪れていただくためには、広範囲に周知を行う必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある